

## 山中貞則顕彰記念事業

**1,805万円**

本年7月に故山中貞則氏の生誕100年を迎えることから、関係団体等と連携し、企画展や記念事業を実施するものです。また、施設紹介に特化したホームページを開設するものです。



山中貞則顕彰館

## 宅地分譲地整備事業

**2億6,709万円**

定住人口増を実現するため、若者や家族世帯を主な対象として、UIターン者呼び込みのための住環境の整備を行うものです。



財部地域宅地分譲整備事業用地

## 岩川小学校改築事業

**13億7,053万円**

岩川小学校の老朽化に伴う改築費用で、主に建築本体工事や屋外プール建設工事・学校管理備品等の整備を行うものです。



## 新型コロナウイルス感染症対策事業

**1億7,212万円**

新型コロナウイルス感染症の市内発生及び拡大防止のため、ワクチン接種等の予防対策の推進・実施を行うものです。



## 特殊地下壕等対策事業

**4,534万円**

旧海軍航空基地跡に地下壕があり陥没個所が確認されたため、防災処理等の対策を実施し、民生の安定を図るものです。



大隅 西竹山地区

## 宅地関連等災害復旧事業

**4,500万円**

災害により被害を受けた宅地関連等の災害復旧を推進するため、災害復旧事業にかかる工事の一部を補助するものです。



ここに  
注目

# 今年度の予算

賛成多数  
可決

議案第 30 号

令和 3 年度曾於市一般会計予算 **268億7,500万円**



本庁舎イメージ図

## 庁舎整備事業

災害時における重要な防災拠点施設

予算額 **6億6104万円**

(総額) **14億9000万円**

庁舎整備については、令和元年度に策定した「本庁・支所機能再編計画」に基づき、窓口業務をはじめとする市民サービス拡充を図るとともに、災害時における重要な防災拠点施設としての役割から、庁舎の整備を進めることとしており、まずは本庁舎施設の整備から取り組むものです。

**意見** 庁舎整備事業は、人口減少のなかで、多目的ホールやテラス・喫茶コーナー等華美な施設は、無駄遣いという市民の声もあるので見直すべきではないか。

**意見** 庁舎整備事業の一般財源の持出しを抑えるため有利な起債を利用している事業である。防災拠点や市民の利便性の向上につながるワンストップサービス窓口等を充実させるため、早期の建設を望む。

### 反対意見

庁舎整備事業については、耐震化のない大隅支所の建設を優先すべきである。

避難場所は他の施設で十分対応でき

る。本庁舎整備は必要最低限におさえるべきである。

**賛成討論** 南海トラフ地震が予想されるなか、本庁舎増設工事を早期に終了し、農業委員会等の支所機能を再編し、耐震化のない大隅支所・財部支所の建設を急ぐべきである。

## 予算修正案の提出

### 提出者

渡辺議員

### 賛成者

岩水議員・泷合議員・大川内議員・久長議員・九日議員

新型コロナウイルス感染症が収束の見込みもなく、市内にも大きな影響が出ている状況を考えると庁舎整備事業は先延ばしして、もう少し慎重に審議すべきである。また、本庁・支所機能再編計画もまだ十分に市民の理解を得ておらず、財部・大隅地区の市民の意見も反映すべきであるため、庁舎整備事業費減額の修正案を提出する。

賛成少数否決



【防犯対策事業の

防犯カメラ設置事業】

**問** カメラの設置場所はどこか。

**答** 各町3カ所、学校・商店街等での設置を検討している。

【消防団出動手当】

**問** 国から7000円を交付税措置されているが、現在支出している5100円を上げる考えはないか。

**答** 現在は、県内でも高い状況にあるため、今後の他市町村の動向を見極めながら検討したい。

**意見** 消防団への入団者が少ない中、消防団員の出動手当を引上げるべきである。

【議場放送音響

設備等改修工事】



**問** 工期等について伺う。

**答** 4月から7月にかけて議会運営委員会の委員による先進地研修を実施し、研修内容を参考に入札執行仕様書の決定、8月から9月に入札を実施、入札後12月末までに機材等の調達、12月定例会終了後から3月定例会の開会前までには、改修工事を完了する予定である。

【市税等の

スマートフォン決済】

**問** 令和3年度から取組む市税等のスマートフォン決済は。

**答** 収納手数料はコンビニ収納と同じ1件につき57円で、コロナ禍で人との直接的な接触を伴わず納付ができるので、新型コロナウイルス感染症予防対策の1つとして利用できる。



【二次救急医療

体制整備事業補助金】

**問** どのような補助金か。

**答** 令和元年度に鹿屋市から話があり、大隅半島の4市5町で構成する協議会で協議を重ねて令和3年度から開始することとなった。救急搬送された医療機関に1人1万3000円を補助する制度であり、曾於市では昭南病院・松岡救急クリニック分院が対象である。財源については80%が特別交付税措置、20%が一般財源である。

【小学校遠距離通学補助】

**問** 内容や対象者は。

**答** 4 km以上の児童に月額1000円の補助を計画しており、財部地区はスクールバスが運行していることから、末吉・大隅地区の児童1641人中約70人が対象である。



### 〔学校運営協議会〕

#### 〔コミュニティ・スクール〕

**問** どのような内容か。

**答** これまでの学校評議員会に代わるもので、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を導入するものである。協議会は、校長や教育委員会に意見を述べることができる。一定の権限と責任があり、学識経験者や校区の住民、保護者等から委員が選ばれる。令和3年度は、末吉小・岩川小・財部小、末吉中・大隅中・財部中の6校でコミュニティ・スクールを導入する。

### 建設経済常任委員会

（岩水 豊委員長）

### 〔道路事業改良率〕

**問** 各町別の道路事業改良率は。

**答** 末吉町74・11%、大隅町77・34%、財部町45・66%である。

### 〔土木費〕

**問** 昨年度から減額されている理由は。

**答** 合併特例債を財源としていた事業を減としたためである。

### 〔観光関連団体育成事業費〕

**意見** 令和3年度より、曾於市観光協会事務局長として市職員を一人出向させるとの説

明だが、事務局長分の給与が、総務課の商工総務職員給与と観光協会補助金の人件費で二重計上されていることが判明したため、早急に対応をするよう強く求める。

### 〔商工関連利子補給事業〕

**問** 昨年度より減額されている理由は。

**答** 令和2年度までは、限度額100万円であったが、今年度から経営改善資金については20万円、設備投資資金については30万円に変更した。

### 〔畜産振興協議会事業〕

**問** 補助金が減額されているが。

**答** JAとの協議により前年度より各200万円の補助金減額で、総額400万円の減額になった。

### 〔曾於北部地区・大隅南地区の県営畑地かんがい事業〕

**問** 事業完了時期は。

**答** 曾於北部地区は令和9年度、大隅南地区は令和5年度に完了予定である。

### 〔農業経営収入保険 加入促進事業〕

**問** 近隣市町の補助内容との格差はないか。

**答** 曾於市の補助内容は1年間のみとし、上限額が15万円であるが、志布志市・鹿屋市・大崎町は補助期間が3年間であり、補助内容が拡充されている。

**意見** 支援のあり方について、検討するように。



給水栓設置されたほ場



令和3年度曾於市国民

健康保険特別会計予算

予算総額 56億4236万円

これまでの実績を基に、療養給付費、療養費、高額療養費、国民健康保険事業納付金等を推計し、これを賄うに足りる保険税を公平かつ適正に賦課徴収することを旨としています。

**問** 一般会計からの2億5000万円の法定外繰入金について伺う。

**答** 国民健康保険税の歳入が約5800万円減、県支出金の特別交付金が約4280万円減、一般会計繰入金が約1600万円減、基金繰入金が5000万円減、繰越金が8460万円減等であり、新年度予算編成では総体的に2億5000万円が財源不足となったため、法定外繰入金で対応するものである。

**問** 国民健康保険税率の見直し時期等は。

**答** 課税方式については令和5年度までに4方式から3方式への検討が行われており、今後の協議次第である。

**意見** 県内の市町村で保険税の収納状況や財政状況はバラバラであるため、県内統一の保険税の導入はとても厳しいと思われる。

議案第32号 賛成多数 可決

令和3年度曾於市後期

高齢者医療特別会計予算

予算総額 6億1949万円

2年毎に実施される保険料率の改定により令和2年度から3年度の保険料率を所得割合10・38%、均等割額5万5100円とし、年間平均の被保険者数を7814人として保険料を見込んだものです。

**問** 医療費の伸びと被保険者数の推移は。

**答** 医療費は県の予算ベースで1人当たり1・5%の伸びであり、被保険者数は令和元年度8193人、令和2年度7978人、新年度は7814人と減少傾向である。

**問** 1・5%伸びの見込みでは少ないのではないか。支障があった際にはどのように対応するのか。

**答** 財政安定化基金が令和2年度末で53億円あるので、基金で対応することになる。

議案第33号 賛成多数 可決

令和3年度曾於市

介護保険特別会計予算

予算総額 58億5191万円

令和3年度から、第8期計画が始まり、令和3年度から5年度までの給付見込みに対する新たな保険料が設定されました。

※P10議案第14号も併せて参照ください



**問** 介護保険サービス給付費等の推移は。

**答** 居宅介護サービス給付費で15億円、地域密着型介護サービス給付費で14億5200万円、施設介護サービス給付費で17億1000万円と3つの給付費合計は46億6200万円となり、介護保険予算全体の85%を占めている。居宅介護サービスのみが増えているのではなく、いずれの給付費も年々増加傾向にある。

**問** 市内の介護認定者は。

**答** 介護認定者は約3000人で、施設入所者は、約900人である。

**意見** 全体を通して令和3年度からの第8期介護保険事業計画の介護保険料の増額により、市民への負担が増えることから国へ介護保険制度の改革を求める意見書を提出すべきである。

**議案第34号** **全会一致 可決**

令和3年度曾於市生活排水

処理事業特別会計予算

予算総額 1億1279万円

令和3年度も引き続き、国庫補助金や市債等を主な財源として、50基を設置する計画です。

**問** 令和3年度で市町村設置型の浄化槽事業は終了するが、今後の計画についてはどのようなになるか。

**答** 合併浄化槽整備検討委員会では、今後約1000基の合併浄化槽を設置から10年経過したものを随時市民に無償譲渡する方針を出している。

**議案第35号** **全会一致 可決**

令和3年度曾於市  
水道事業会計予算



高松浄水場

水道事業は、給水戸数1万5103戸で、水道事業収益は5億8075万円のうち一般会計から6671万円の繰入れをしなければならぬ状況であるとの説明がありました。

**意見** 末吉地区上水道整備については、一体的な取組みが必要である。

**議案第36号** **全会一致 可決**

令和3年度曾於市公共  
下水道事業会計予算

公共下水道事業は、接続戸数1727戸で、下水道事業収益は2億5190万円のうち一般会計からの繰入金がお1億2775万円となっており、今後は令和5年をピークに減少傾向になるとの説明がありました。

**意見** 最小の繰入れで最大の効果を求める。



下水道浄化センター

曾於市議会では定例会や臨時会の様子をインターネットによる**ライブ中継**や**録画放送**を行っています。

曾於市ホームページより『議会映像配信』をクリックしてください。  
※アドレス <https://www.city.soo.kagoshima.jp/> 曾於市ホームページ➡

